



使用例

作物名		肥 効	希釈倍数	使用時期	使用回数	
果樹	ぶ ど う (巨峰・ピオーネ)	着色促進及び品質向上	300倍	着色初期	1回	
			500倍	1 回目 着色初期	2回	
	か き	品質向上、樹上軟化抑制 及び収穫後の日持ち向上		500～1000倍		2 回目 1 回目の 7～10日後
			な し		果実肥大向上	500倍
	品質向上	収穫開始予定 30日前、10日前		3回		
	い ち じ く	収量増加及び熟期促進	300～500倍	満開後10日おきに	2回	
	み か ん デ コ ポ ン	樹勢回復及び発根促進		収穫開始予定 50日前、30日前	3回	
ハウスみかん	樹勢回復	夏期(7～8月)に 10～15日間隔		2～3回		
根菜 果菜 葉菜	し ょ う が に ん に く	肥大促進	300～500倍	剪定後又は被覆除去後	2～3回	
				剪定後		
	さ と い も	増収(子いも、孫いも)	300倍	主茎10～12葉期	2回	
				球肥大初期	1回	
	果 菜 類	収量増加及び品質向上	300～500倍	親株5～7葉期	2～3回	
	い ち ご	定植後の活着促進 及び発根促進 なり疲れ防止	300倍	定植直後より 20～25日間隔	1回	
500倍			定植後7～14日後	2～3回		
茶		樹勢回復及び品質向上	2～3月	秋期(整枝後)	1回	
			500～1000倍	1芯1～2葉期		
た	ば こ	品質向上 収量増加	300～400倍	7日間隔	1～2回	





使用上の注意

- 石灰硫黄合剤などの強アルカリ性農薬や重金属入り農薬とは混用しない。
- 農薬と混用する場合は、その使用農薬ラベルに記載されている注意事項（薬害）を守る。
- りんご（つがる）には、落果防止剤との混用はしない。

治 療 法…該当なし

魚毒性等…該当なし

保 管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別する。長期間、マイナス10℃以下の場所に置かない。（結晶析出）

